

掛川のみなさん、こんにちは！

私は、掛川市の姉妹都市である韓国の横城郡（フエンソンぐん）という街から来た研修生、韓衡根（ハン・ヒョングン）と申します。今年度1年間、市役所の各課を回りながら一緒にお仕事をさせていただいております。実は、日本には一度来たことがあるんですよ。2010年の11月頃に家族旅行で北海道を回り、今回は2度目になります。ドキドキしながら静岡行きの飛行機に乗ったのがついこの間のような気がします、もう半年が過ぎ、折り返し地点に来てしまいました。こうして時間が過ぎていくのも惜しく感じます。

韓国では「近くとも遠い国・日本」という言葉を聞くことがあります。飛行機で1～2時間程度、距離的にはとても近い国です。一方で、20世紀初めには韓国を統治していた国という意識が韓国人の中には残っており、心情的には「遠い」ということなんではないでしょうか。

今、韓国では当時の状況を舞台とした「ミスター・サンシャイン」というドラマが放送されており、弱小国だった当時の経験を振り返っているのだらうと思います。

実際、多くの韓国人がそのような歴史やメディアを通じて、日本極右時代の嫌韓記事を目にし、日本人に対して否定的な見解を持ってしまい、実際に日本という国に来て本当の「日本」を知ることができないでいます。そのような考えは、簡単には変わらないのかもしれないかもしれません…。

でも！私は1年という決して短くはない時間を通して、さっそく職員のみなさんと仲良くなり、あちこち連れて行ってもらっています。直接見聞きすればいろいろなことが分かり、いろいろな人とふれ合うことができます。まだ下手くそだけど、日本語の勉強も頑張っているんですよ！私が掛川で感じたことを少しずつ書いていきますね！

「早く早く（パリパリ）」

韓国人は「パリパリ」という言葉をよく使います。ただ「早く（パリ）」だけではなくて反復することで、「とにかく早く！」という意味になります。韓国人は、「団体で外国旅行をするとき、20～30人くらいなら事前予約をしなくてもいいだろう」という冗談を言います。韓国人はとにかく食事が早く、10～20分もあれば食べ終わってしまうので、次のお客さんが来ようとも問題ない、ということです。お酒でもあれば盛り上がりもし、話が変わってくるのでしょうが（笑）、確かにそのくらいの時間で十分な気がします。韓国人のせっかちな性格が、「早い」経済発展に寄与したということもあるのかもしれませんが。

運転するときもこの性格のせいなんでしょうか、なんというか…荒いんです。交通違反も多いと思います。前に「イ・キョンギュがゆく」という番組がありました。交通ルールをきちんと守っている人を探し、賞品をあげ、同時に日本の交通マナーを放送していたことがありました。道端の違法駐車もほとんどなく、夜も更けた時間

にもかかわらず、横断歩道の手前ではきちんと停止線前で止まり、信号は守る。そんな日本人の姿は一当たり前のことですが一韓国人にとっては驚くべきことなのです。8年前に初めて札幌旅行に行ったときもそうでしたが、今、ここ掛川でもそれを実感しています。

韓国では路上駐車が普通に見られますし、片側2車線の道路が1車線になってしまうんです！では、片側1車線の道路はどうなると思います…？そう、「一方通行」になってしまいます。こんなに車が止まっていたら、陰から飛び出す子どもが危ないですよ？実際に事故も起きてしまっています。でも、掛川ではそんな光景をほとんど見たことがありません。交通量の多い中心街はもちろんですが、裏通りや細道でも違法駐車がないというのは、韓国人の私からすればどうみても不思議なことなのです。

交通ルールを守ることは、法で強制する以前に自ら進んでそうすることこそ正しい市民の姿だと言えるでしょう。韓国も早く余裕を持ってルールを守り、他人に配慮する社会になればと思います。